PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-251230

(43) Date of publication of application: 06.10.1989

(51)Int.CI.

G06F 9/06 G06F 12/00

(21)Application number: 63-079362

....

(21)Application number

(71)Applicant:

TOSHIBA CORP

(22)Date of filing:

31.03.1988

(72)Inventor:

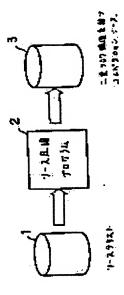
YAMATANI YUJI

(54) PROGRAM CONVERTING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To store line information and a compaction source without waste, and also, to decrease the number of pointers by reading a program from a source text, collecting the data by a block unit and executing a link between its blocks.

CONSTITUTION: A source compression program 2 reads a program of a one-line portion from a source text 1, converts it to a compaction source group by one line unit and a compaction source having a double link structure is stored in a file 3. Line information of plural blocks for holding the compaction source is stored in the end direction from the head and the compaction source is stored in the head direction from the end at every unit for showing one line, and the fore-going is executed until both the data go to unstoreable. The data which cannot be stored in its block A is stored in the next block B. In such a case; the blocks are coupled so that the rear link of the block A points to the block A and the front link of the block B points to the block A. In such a way, a double link structure can be realized by a small number of pointers.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision

of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑲ 日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平1−251230

®Int. Cl. ⁴

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成1年(1989)10月6日

G 06 F 9/06

12/00

4 1 0 A -7361-5B 3 0 1 M-8841-5B

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

49発明の名称

プログラム変換システム

②特 願 昭63-79362

@出 願 昭63(1988) 3月31日

70発明者 山谷

祐 二 東京都青梅市末広町2丁目9番地 株式会社東芝青梅工場

☆

勿出 願 人 株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

四代 理 人 弁理士 須山 佐一

明细音

1. 発明の名称

プログラム変換システム

2. 特許請求の範囲

(1) ソーステキストから1行分のブラグラムを 読込み、 1 行単位でコンパクションソース群に変 換する手段と、前記コンパクションソースを保持 する複数のプロックのそれぞれに先頭から順に前 記変換された1行分のプログラムの行情報を格納 するとともに末尾から順にその1行分のコンパク ションソースを格納する手段と、前記プロックの いずれかが一杯になったとき、その一杯になった プロック内に格納された行数と前のプロックを指 す前方リンク情報および後のプロックを指す後方 リンク情報を格納する手段と、前記ソーステキス トを全て読み終えたとき、最初のプロックの前方 リンク情報は最後のプロックを、最後のプロック の後方リンク情報は最初のプロックを指すように 制御する手段とを備えてなることを特徴とするブ ログラム変換システム。

3. 発明の詳細な説明

[発明の目的]

(産業上の利用分野)

本発明は、ソーステキストをコンパクションソース群に変換するプログラム変換システムに関する。

(従来の技術)

ソーステキストをコンパクションソース群に 変換するシステムが種々提案されているが、従来 のシステムは、例えばリスト処理におけるように、 ソーステキストのプログラムを1行単位に、デー タであればワード単位に前後のチェインで接続す る方式が主流であった。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら従来のシステムによると、行情報とコンパクションソースのメモリ空間に無駄が生じ、ポインタの数が多くなるという問題がある。本発明はこのような事情によりなされたもので、行情報とコンパクションソースを無駄無く格納することができ、ポインタの数も少なくなるプログ

特開平1-251230(2)

ラム変換システムの提供を目的としている。

[発明の構成]

(課題を解決するための手段)

本発明のプログラム変換システムはこの目的 を実現するべく、ソーステキストから1行分のプ ラグラムを銃込み、1行単位でコンパクションソ ース群に変換する手段と、前記コンパクションソ - スを保持する複数のプロックのそれぞれに先頭 から順に前紀変換された1行分のプログラムの行 **併報を格納するとともに末尾から順にその1行分** のコンパクションソースを格納する手段と、前記 ブロックのいずれかが一杯になったとき、その一 坏になったプロック内に格納された行数と前のブ ロックを指す前方リンク情報および後のプロック を指す後方リンク情報を格納する手段と、前記ソ ーステキストを全て読み終えたとき、最初のブロ ックの前方リンク情報は最後のプロックを、最後 のプロックの後方リンク情報は最初のプロックを 指すように制御する手段とを備えている。

(作用)

1 バイトごとに別々に処理されるものと仮定する。 数字は符号付きの 2 進数で表現されるものと仮 定する。したがって 1 バイトでは-128~+127まで の表現が可能である。

さらにブロックを格納するファイル編成は番号の指定によって各ブロックのアクセスが可能な編成にされていると仮定する。

本実施例のシステムは、ソースチキストを入力 し、第2図に示す形式の複数のブロックに変換後、 それを出力する機能を有する。

第3図に示すように出力される各プロックは、 前方リンク(フロントリンク)および後方リンク (パックリンク)の両方向のブロックへのポイン タを有している。そして1番最初のプロックの前 方リンクは1番最後のプロック、1番最後のプロ ックの後方リンクは1番前のプロックを指す。

一般に、ソースプログラムはインデンチーションおよびプログラム自体の見易さのために空白等が多く存在することが多い。そこで第4図に示すように、入力となるソーステキストは1行ごとに

本発明のプログラム変換システムではブロック、すなわちある程度まとまった単位にプログラムを集め、そのプロック間でリンクを行なうことにより、少ないポインタで2重リンク構造を実現する。

また決まった大きさのプロックにプログラムを格納することにより、メモリ空間に無駄が生じない。

(寒瓶例)

以下、本発明の実施例の詳細を図面に基づいて説明する。

第1図は本発明の一実施例の構成を示す図であ

同図において1はソーステキストが格納されているファイル、2はソースプログラムの圧縮を行なうプログラム、3は二重リンク構造を持つコンパクションソースを格納するファイルである。

そして本実施例では、1文字が1バイトから表現されると仮定する。また漢字1文字は2バイトからなるものとし、内部的には2文字として扱い、

3 種類(A、B、C)の形式にコンパクションを行う。

A形式は先頭1パイトが16雄で『FF』、次の1パイトが長さを表わす2進数の計2パイトからなる。

B形式は先頭1バイトが16進で"FE"、次の1バイトが長さを表わす2進数、その次の1バイトが文字を表わす計3バイトからなる。

C 形式は先頭1バイトが長さを表わす2進数、次がその長さ分の文字列からなる。

そしてソーステキストの元のイメージを保つた めに以下のような規則でコンパクションを行なう。

- ①空白が2個以上統いた場合は、A 形式にする。
- ②空白以外で同じ文字が3個以上続いた場合は、 B形式にする。
- ③その他の場合には、C形式にする。

出力となる1つのプロックの構造は、第2図に示したように固定情報と可変情報とに分けられる。

固定情報は前方リンク、後方リンクおよびその ブロックに格納されている行数が各2パイトずつ の計6パイトからなり、固定的にプロックの頭部 にとられる。

可変情報は行情報部とコンパクションソース部との2つに分けられる。

行情報部は、そのプロックに格納された行数分(固定情報部の格納行数と等しい)の行情報が存在する。1つの行情報はその行を表わす型および 長さが各1パイト、そのプロック内の位置(先頭を1とした相対位置)およびソーステキスト全体の順番を示す文番号が各2パイトの計6パイトからなる。

コンパクションソース情報部には、各行情報に対して(ソーステキストの最後を示す型を持つものを除き)、第3図に示した形式のコンパクションソース(1行に対し複数個となる)が格納されている。

最後にプロック内に無駄無く各データを格納するために、第5図に示すように行情報は上(先頭)から下(末尾)方向へ、コンパクションソースは1行を表す単位ごとに下(末尾)から上(先頭)

制御が極めて容易である。

なお本実施例の機能をコンパイラに組込んで、 変換されたソースプログラムと出力されたオブジェクトとを同時に出力するようにすれば、オブジェクトと対応するソースプログラムが必ず存在することになるので、デバッグ処理に使用することができるようになる。

「毎明の効果」

以上説明したように本発明のプログラム変換システムは、プロック単位にデータを集め、そのプロック間でリンクを行なうので、行情報とコンパクションソースを無駄無く格納することができ、ポインタの数も少なくなる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の構成を示すプロック図、第2図は同実施例におけるソーステキストのプロックを説明する図、第3図はソーステキストのコンパクションを説明する図、第4図はソーステキストのプロック間のリンクを説明する図、第5図はプロック内への行情報およびコンパクシ

方向に格納してゆき、これを両方のデータが共に 格納不能になるまで行う。そのプロック(ブロッ クAとする)に格納できなかった両方のデータは、 次のプロック(ブロックBとする)に格納する。

また、このときにブロックAの後方リンクはブロックBを指し、ブロックBの前方リンクはブロックAを指すようにブロック間の結合を行なう。

なお、プログラムが持つ附随的なデータ(ソースの名前、作成日付、更新日付など)は、他の固定的なプロックが持つものとする。すなわちソーステキストを他のユーティリティ等で扱いよくするために、物理的に変換する機能をもつ。

かくして本実施例によれば、プロック単位にデータを集め、そのプロッグ間でリンクを行なうので、少ないポインタで二重リンク構造を実現することができる。

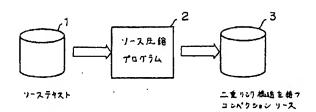
また決った大きさのブロックにデータを格納するので、メモリ空間に無駄が生じない。

さらにソースプログラムの先頭から末尾をアクセスする、または末尾から先頭をアクセスする等

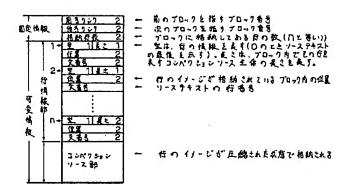
ョンソースの格納方法を示す図である。

1 … ソーステキストが格納されているファイル、 2 … ソースプログラムの圧縮を行なうプログラム、 3 … 二重リンク構造を持つコンパクションソース を格納するファイル。

特開平1-251230(4)



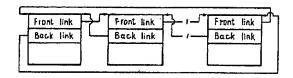
第1四



第 2 図

A 計文 | FFL | しパイトの皇台 日 計文 | FEL | C | 1 パイト文字 C がしパイト C 計文 | L moot | しパイトの文字 イナーシ (L < 127)

第3四



第 4 図



第5図